

分科会のご紹介（前のページもご覧ください）

【2A】 インフラ

G20「質の高いインフラ」議論と日本の「インフラ輸出戦略」の課題

本分科会では G20 大阪サミットの主要論点のひとつである「質の高いインフラ」について、G20 の議論動向、日本のインフラ輸出の政策課題、途上国で生じている問題等を踏まえて、「質の高いインフラ」原則の内容と日本政府のインフラ輸出方針の課題について議論を行う。

【2B】 移住労働者、人権

外国にルーツをもつ市民の人権 ～とくに移住労働者に焦点をあてて～

本分科会では、移住労働者の送出国・受入国の双方が集まる G20 という機会をとらえ、あらためて、移住労働者について、「人権」という観点に立ち、現状についての理解を深め、また、国際的な取組・日本国内の取組双方を視野に入れつつ、今後の取組について議論します。

【2C】 ジェンダー

世界に学び、大阪・関西で行動する～ジェンダー課題の解決のために～

C20, W20 での議論やジェンダー課題を理解し、市民目線で検討、それぞれが暮らしや活動の中で行動を起こすことに繋がります。「ジェンダーに基づく暴力とそれを生むジェンダー意識」「平等な働き方やケアワーク」「コンフィデンス・ギャップ」「政治参加」「複合差別」等について話し合う予定。

【2D】 高齢者、健康

世界の人口高齢化に立ち向かう市民社会のチャレンジとは

2045 年、全世界で高齢者数が子どもの数を上回り、2050 年には 60 歳以上が先進国で 30%、途上国で 20% まで増加する見通しです。高齢化のスピードが先進国より早い途上国は、社会経済が成熟していません。SDGs 目標 3「すべての人に健康と福祉を」達成に向け、C20 での議論をふまえて考えます。

【2E】 核兵器の禁止、廃絶

ヒロシマ・ナガサキから世界へ核兵器の禁止・廃絶を

2017 年、国連で「核兵器禁止条約」が採択され、ヒバクシャや長崎市をはじめ、世界の多くの国が条約批准を各国政府に求めています。しかし核大国の政府等は、条約に反対し批准を妨げています。私たちは「戦争被爆国 日本」から、核兵器禁止条約の批准と持続可能な開発を世界にアピールします。

【3A】 ホームレス、誰一人取り残さない

「切らない支援」を目指して～大阪におけるホームレス支援の現場から～

SDGs のスローガン「誰一人取り残さない社会」。しかし今「取り残されている人」に、その言葉は伝わっているでしょうか。都市イベント開催のたび、社会的弱者が排除される現在。「最も苦しい人が、取り残されてしまう社会」にしないため、市民セクターに何を求められるか考えます。

【3B】 教育、繋がり

教育現場の構造的課題を探る！～縦と横の繋がりと共感を広げるチャレンジ～

現場には余裕がなく、国際・政策的議論が届かない。こうした状況を、個人の努力だけでなく仕組み（構造）の問題として捉え、その解決に取り組んでいけないか！？根本的課題に取り組みながらも現場を支え続けるためにまずは繋がりを広げたい。大きなチャレンジへの一歩をみなさんと踏み出したいです。

【3C】 平和、和解、共生

アジア諸国における多数者と少数者の和解～"平和に生きる権利"を地域住民の視点から～

「一つの国家」とは？「住民自治」とは？地域住民の視点が抜け落ち、疑念が向けられる一帯一路。ウイグル・モンゴル・チベット…民族平等・互学互鑑を忘れた民族弾圧。人権侵害の実態。拘ることなく敢えて "対話による和解" の道を探り、人間の安全が保証される共栄圏の実現について考えます。

【3D】 地域から世界へ

地域から世界へ 住民主体の政策立案・政策協働をめざして

日本でも少しずつ認知されてきたアドボカシー（人々の声を政策に繋げ実現する活動）。よく知られた国際的なものだけでなく、日本の地域レベルでの優れた事例を紹介対比し、人々や NGO/NPO が世界と繋がりながらアドボカシーや政策実現・協働のチカラをつけ、地域から民主主義を育む道を探ります。

【3E】 LGBTQ、SOGI、性的マイノリティ、人権

大阪から世界へ、SOGI にまつわる差別撤廃のための提言書

先進国の多くで LGBTQ および SOGIE を理由にした差別禁止法や当事者の権利を守る法的保障が実現されている中、日本は方針としてまだ明確にされていない。今日の日本における LGBTQ への差別や人権侵害がどのように解決されるべきかを様々な観点から検討し、具体的な提案と実践の機会とする。

【全体会 2 日目】 市民宣言、レガシー

G20 大阪市民サミット宣言！地域～世界の市民社会が共に歩み出す未来とは？

各分科会の結果の報告を受け、G20 大阪市民サミット参加者全員で市民宣言および提言を採択し、発表します。また、市民宣言や提言をこれからの大阪・関西・世界に向けてどのように生かしていくのか、次年度のサウジアラビア G20 サミットなども見越しながら、参加者で議論し、方向性を見出します。

【特設会場】 子どもプログラム

子どもの保育、親子の居場所

これからの地域や世界について考え語り合う場に子どもたちがいる／子どもたちと参加できることは大切なこと。そのために子どもたちの保育（予約制）と親子の居場所を提供します。大人の活動のために子どもたちを「お預かり」するのではなく、子どもたちなりの表現や活動ができる場をつくっていきます。

G20

大阪市民サミット

OSAKA Citizens' Summit

2019.6.25 Tue - 26 Wed

【主 催】 G20 大阪市民サミット実行委員会
【共 催】 2019 G20 サミット市民社会プラットフォーム
【後 援】 社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
【助 成】 2019 年度地球環境基金



お問い合わせ先 G20 大阪市民サミット実行委員会
〒540-0012 大阪市中央区谷町2丁目2-20 大手前類第1ビル2F 市民活動スクエア「CANVAS 谷町」L17
FAX 06-6809-4902 (担当: 永井) メール g20osaka.cs@gmail.com Web サイト https://G20ocs.jp/
Facebook https://www.facebook.com/g20osaka.cs/ Twitter https://twitter.com/G20OsakaCS

G20 大阪市民サミット G20 Osaka Citizens' Summit

「G20 大阪市民サミット」って何？

G20 大阪サミットは私たちからは遠い、各国首脳や国際機関の代表達だけの会議に思えがちです。そこで、大阪・関西の NGO/NPO 有志が話し合い、実行委員会を立ち上げ、開催地の市民社会として「G20 大阪市民サミット」を国内外の市民社会と協力して開催することとなりました。地に足の着いた活動、日々の暮らしから、私たちの声を首脳会議や世界に発信します。また、市民サミットを通じてこれまで関わりの少なかった国際社会やさまざまな分野の人々と広く繋がり、私たちの手で社会をより豊かに変革してゆく力強さを生み出します。

概要

【日 時】 2019 年 6 月 25 日 (火) 10:00 ~ 17:30 (夜に懇親会を開催予定)

6 月 26 日 (水) 10:00 ~ 15:30

【内 容】 全体会および分科会 (15 分科会程度、詳細は「プログラム概要」参照)

【言 語】 日本語 (一部、日英通訳あり (予定))

【参加費】 無 料 (要参加申込み、懇親会は別途)

【参加申込 (6/17(月) 正午締切)】

<https://forms.gle/Eh7dAsYswYDfYuGF8>

上記リンク先のフォームからお申し込みください。

右の QR コードからもアクセスできます。



【会 場】 PLP 会館 (受付は 5 階にお越し下さい)

大阪市北区天神橋 3 丁目 9-27

http://plp-kaikan.net/access/a_index.html

大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅 4 番出口より徒歩 3 分

JR 大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩 5 分

会場には駐車場はございません。

ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

各分科会の部屋の指定は当日受付に掲示いたします。



G20 大阪市民サミット プログラム概要

日程	時間	実施内容				
6月25日 (火)	10:00~12:00 全体会 1	G20 大阪市民サミット開幕! G20 に向けて地域~世界の市民社会ができること				
	13:00~15:00 分科会 1	気候 エネルギー	地域社会 SDGs	子どもの 権利 SDGs	万博 SDGs	UHC (ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)
	15:30~17:30 分科会 2	インフラ	移住 労働者 人権	ジェンダー	高齢者 健康	核兵器の 禁止 廃絶
終了後、参加者によるレセプション (懇親会) を予定						
6月26日 (水)	10:00~12:00 分科会 3	ホームレス 誰一人取り 残さない	教育 繋がり	平和 和解 共生	地域から 世界へ	LGBTQ SOGI
	13:30~15:30 全体会 2	G20 大阪市民サミット宣言! 地域~世界の市民社会が共に歩み出す未来とは?				

分科会のご紹介 (裏面に続きます)

【全体会 1 日目】 地域~世界の市民社会と G20

G20 大阪市民サミット開幕!
G20 に向けて地域~世界の市民社会ができること

G20 大阪市民サミット開催の意義を紹介すると共に、今年 4 月に世界の市民社会が集まって行われた「C20 サミット」や G20 首脳に提出された政策提言との関わり、そして G20 大阪サミットに向けてどのように取り組んでいくかを考えます。また、各分科会についてもご紹介します。

【1C】 子どもの権利、SDGs

子どもと SDGs・子どもの権利・子どもの人権擁護

SDGs の中で子どもは埋もれがち。2019 年は日本の子どもの権利条約批准 25 周年。2 月には国連子どもの権利委員会が日本の取組み状況に勧告を出しましたが、新たな課題が指摘され、厳しい状況のまま。関西の子どもたちの状況から「子どもを誰ひとり取り残さない」連帯をめざし、提言づくりを行います。

【1A】 気候、エネルギー

脱炭素化と再エネ 100%実現へのアクション

G20 サミットの議題の 1 つである気候変動。最新の科学を踏まえ、脱炭素化と自然エネルギー 100%をめざすトレンドが、各国政府・自治体・企業など多様なセクターで加速しています。原発再稼働や神戸製鋼の石炭火力発電所新設などの課題に直面する大阪・関西で、持続可能なエネルギーについて議論します。

【1D】 万博、SDGs

SDGs と夢洲万博：夢洲のリスクとポテンシャル

夢洲で万博開催? 夢洲は「生物多様性ホットスポット」であり「国際コンテナ戦略の中心的機能」を担う関西の物流の要。一方、軟弱地盤や台風等、災害対策も大きな課題。そして万博とカジノは相容れないという批判も聞こえてきます。夢洲以外の会場候補地を含め、SDGs と両立する万博を考えます。

【1B】 地域社会、SDGs

2030 年に向けて、市民、地域からはじまる社会の変化・変革 ~ KANSAI-SDGs 市民アジェンダの取り組みを通じて考える市民社会 (CSO) の可能性~

市民視点で地域の社会課題を持続可能な開発目標 (SDGs) に繋げ、これまで進めてきた議論を共有。2030 年「誰も取り残さない」「持続可能な社会」にするにはどんな変化や変革が必要か。北海道等の先進事例や課題を共有し、SDGs 達成に取り組む各地域の CSO 間ネットワークワーキングも目指します。

【1E】 UHC (ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)

**国際連帯税と保健医療へのアクセス：
「すべての人に健康を」実現に向けて**

90 年代、エイズ危機で顕在化した「治療へのアクセス」と企業の「知的財産権保護」の対立。そんな課題解決のため「国際連帯税」を使って設立された国際機関「UNITAID」は、多くの人の命を助ける一方、課題も山積。この分科会で最新の世界の議論を知り、共に考えましょう。